10 de Marco de 1922 No. 231

Noticias do Brazil

大正十一年三月十日　金曜日　第二百卅一號

伯剌西爾時報

NOTICIAS DO BRAZIL
Publicado semanalmente
Rua Fagundes N. 16
Caixa Postal H
Tele. Central, 5695
S. Paulo, Brazil
Proprietario e editor
Seisaku Kuroishi

Assignaturas
por Anno ..... 15$000
„ Semestre ..... 8$000
„ Mez ..... 1$500
„ Semana $500

嗚呼普選否決

我國今期議會の諸問題中、普選は一般國民に關係深きだけ、其の成行に就ても國民の注目する處甚大であるが、是が近頃華盛頓電報及びアッソシエテッドプレッス電報に據つて見れば、投票數に於て兩電報に多少の異ひこそあれ、否決を報ずる點に同樣であるから、折角憲政會が昨年來の『獨立生計』云々の條件を撤し、國民黨及び庚申倶樂部と提携して之が通過に努力せしにも拘はらず、又もや政府黨の多數に壓せられ、遂に否決されたやうである。

政友會にした所が普選を必ずしも不可なりと思惟する譯でもあるまいが、或る特權を擁護する爲め尚早を唱へて之に反對し來りたる以上は、今更ら掌を反へすが如く贊成も出來まじければ、若し黨派の羈束から離れて國家の長計を案ずるならば、本年は滿場一致を以て普通選擧案を可決し、以て物質的不足の爲めに不平不滿に傾きつゝある、有識無産階級に一の慰安を與ふると共に、內政の充實を計つて我國民の世界飛躍の準備を彌々鞏固にして貰ひたかつたのである。

本年は華盛頓會議の結果海軍力制限となり、四國協約となり、尠くも此處十年間は戰爭の心配なしに世界發展を劃策することが出來るやうになつたのであるから、先づ其の一步として國家大改造の基調たる普通選擧案を可決するの最も其の時期を得たものであつたが、政友會は單に尚早竟杷憂に過ぎずである。要するに我國今期議會の普選案否決は、政友會に取つても、國家に取つても損害甚だ小ならずである、政黨は動もすれば行掛り上不可と知つつ其れを通うさゞるの已むなき場合あるが、今度の政友會に於ける普選問題之に該當するには非ざるか、兎に角政友會は普選案を否決して國民の信望を失ひしは返す〳〵も遺憾なことである。

●今日までに判明した 大統領選擧結果 ◇十對七でベ派の勝◇

去る一日全國に涉り擧行された聯邦大統領及び副統領選擧の結果は、日を追ふて各所からの通信に依つて、得票數が判明して行くに連れ、各州總會公認候補のベルナルデス、ウルバノ兩氏の勝利は確實に裏書されて行くに反して、賴みの綱だつた海陸軍人から見放された共和保守黨派のニロ、セアブラ兩氏の敗戰と云ふ悲運となり、賃銀及び物價の引下げを誘ふなきまでもなく、今や勃然として起り來れる日本の民主思想を、政友會が例の慣用手段で尚早とか、漸進とかの名目で一時を糊塗しやうとしても、最早や如何ともすべからずである、故に若し之を次の議會にまでも持越して普選の通過を阻止せんとせば、或はルイ、フリップ王下に於けるギゾー政府の大失態を招くやも圖り難しであるから、政友會も從來の行掛り上普選案を否決するの止むなきに至つた以上は、最早や此の議會を最後として內閣を他に明渡し、以て人心を一新するの擧に出づるの外他に途あるまいが、折角經濟的に施政の方針を立始めた今日此の際、高橋內閣を潰すは何だか惜しいやうである。

併し如何に惜しくとも行詰れる以上は變改せざるを得まいが、何人が內閣を組織し、何黨が政府黨となつても、教育を改め、更に世界に向つて經濟的發展の積極的方針を立てねばならぬのであるから、之を爲すには先づ國內に普通選擧を施き、普く國民に政治上の理解を持たしむることを忘れてはならぬのである、或人は國民敎育普及の足らざる日本に、普通選擧は有害だと唱ふるも、日本は普通敎育を全國に布いて已來既に半世紀に垂んとし、無學の率に於ては英國よりも低いと云はれて居る、然るに此の英國は夙つくの昔、それ以下の伊太利にさへ普通選擧が行はれて居るのを見れば、或人の有害論はたものであつたが、早の二字を以て之を葬り去り、自黨の將來に大なる禍根を殘したと同時に、國家進運の好機會を又々逸するに至れること、孰の方面より觀るも其の損害甚だ大なりである。

茲に更めて佛蘭西の革命を引合に出すまでもなく、今や勃然として起

◇外電一束◇

◆フヒウメの騒亂

三日ファイシスタ黨員は郵便電信局を占領し一隊は政廳を包圍し機關銃爆彈等で攻撃を開始し他の一隊は碇泊中の伊國水雷艇を捕獲した伊國政府は驅逐艦ミラペロ號に增派兵を乘せて出動を命じフヒウメ居住人以外の者で同地へ向ふ者に旅券發給を停止し市民の武裝禁止を命じた（羅馬電報）

◆アリカとタクナ

ブ市電報は同市のラソン紙が智、秘兩國の太平洋問題を豫想し結極兩國は次の條件のもとに一致を見るべしと云つてゐる、一、秘露は智利にアリカを讓り後者は前者にタクナ地方を返還す、二、通關を容易ならしむる通商條約の締結、三、商船海運發達奬勵に關する條約締結、四、兩國首都を連絡する鐵道會社組織、五、秘露に對し百萬磅の賠償等、然れども之に對し智利外相は絶對に否認せり（サンチヤゴ電報）

◆レーニン逃出策

米國救露委員長エバート氏の談に依るとレニンは此の程私に倫敦に一住家を買求めた之は彼が早晩身上に起るべき運命を見越しての逃仕度で最近レニン、トロツキイ等の威力は失墜し資本主義の勢力が擡頭して來たと（華府電報）

◆日本南米發展と米紙

伯國其他南米諸國に日本の殖民貿易の活躍報道につき之は日本が近き將來に同地方に大發展をする前提だとし新聞紙は高橋首相が南米移民を奬勵し既に出發すべき三千人の移民に對しても補助をしたと演說したと注意を喚起し外務省後援の下に南米行移民の便を計る一會社は組織され政府は航海會社に年々補助金を出して米大陸に航行せしめ南米行移民の旅費は非常に輕減される統計によると伯、秘其他南米諸國にある日本人の數は五萬に近い云々と書き立てゝゐる（華府電報）

●日本内閣動搖

政府黨首領連は近々御來着の英皇太子殿下奉迎準備に手違を生せしめざらん爲め同殿下御來朝前に内閣瓦解れず一般に強過ぎる、であるから徒らに騒いで將來を案ずるは早計で先づ宜しく最も需用ある銘品の品質の改善統一を計り目下の如き絶えざる苦情を一掃する事が必要であると樂觀してゐる因に一九二一年に伯國から亞國に輸入されたエルバマテは次の通りである

棒（八十乃至百キロ入）	一〇二、六七八
半棒入	八二、二三九
四分ノ一棒入	六三、六三七
五分ノ一棒入	八一五
八分ノ一棒入	二九九
十分ノ一棒入	七六、三一四
袋入（卅キロ入及六十キロ入）	一二八、七〇〇
牛皮入（百キロ内外入）	三八五
布筒入（六十キロ入）	一、二四三

●伯國公債上向

最近倫數市場に於ける伯國諸公債の上向きつゝあるは伯國財政信用の向上を意味するものと云ふべく一例を擧ぐれば去る金曜市場に於ける相場を前日及び前年の同日に於けるものと對照して示せば

	前日相場	前年同日相場
五分利付	八四　八三、八分の三	六六
新公債	七三	七二、 五五
一九一四年換算分利付	五四	五三　四一
一九〇八年借換	七〇	六九　六一

●豆輸出激減

伯國豆の輸出は戰時中を繁榮の絶頂として平和來と共に減退し昨年度に於ては突如大激減を來したかくの如く同品が外國市場に於て殆ど販路を失墜してしまつた原因に就ては大に研究する必要があるが兎に角最近數年の輸出額を示せば

年次	數量	價額
一九二〇	三九〇	一八、三
一九一九	二三、一〇一	八、三五七
一九一八	五八、六〇七	二〇、八四五
一九一七	七〇、九一四	三一、二九九
一九一六	三、一三五	二

豆の主な輸出港はリオ、サントス、ボルトアレグレで主な輸出先は一九一六—一八年には佛、米、英で最近には英、獨、蘭である

●一月中伯米間貿易

七日發表された伯國對米國の貿易一月中の商務報告に依ると伯國品の米國輸入額は九、九四八、〇〇〇弗で昨年一月に比して二三六、〇〇〇弗增加してゐる又米國品の伯國輸入額は一、六八七、〇〇〇弗で一九二〇年一月の輸入額一四、一二六、〇〇〇弗と比較して非常な減退である、かくて差引今年一月中兩國の貿易は八、二六一、〇〇〇弗の伯國の輸出超過に終つた（紐育電報）

●珈琲輸出一覽

最近數年間の珈琲輸出額は

年次	數量 千袋	伯貨額	英貨額 千磅
一九二一	三、三九九	一、〇二九、〇五五	三四、六四四
一九二〇	一一、三五五	八五〇、九九八	五三、八三一
一九一九	三、九五三	一、三五六、四五三	七三、六〇七
一九一八	七、四三三	三五二、七三七	一九、〇四一
一九一七	三、三五八	六二一、六〇〇	四〇、七九七

今昨年の輸出を輸出港別に示せば

港名	數量 千袋	價額
サントス	八、七七〇	七六一、三二七
リオデジヤネイロ	二、六六〇	一八八、六八六
バイア	二三六	一九、〇三一
ヴイクトリア	六五八	四七、二五四

更に輸出仕向先別に表示すれば

	數量
米國	六、一三六、八〇八袋
佛國	一、五五五、九四五
和蘭	一、〇八七、一八八
獨逸	九二二、五二〇
伊太利	七五四、三七六
白耳義	三八二、一五七
アルゼンチン	二九六、三八三
瑞典	三二三、四五〇
其他	九〇九、七八五

珈琲輸入最大顧客の米國の輸入額を最近數年の分を示すに

年次	數量
一九一九	四、九一四、七三〇袋
一九一八	四、五六二、四二九
一九一七	六、二九一、〇七九
一九一六	六、五七七、三九〇
一九一五	二、一九四、五九四

獨逸は戰前一九一三年に一、八六五、六三二袋を輸入し戰爭と共に途絶したが昨年は戰前の半數に達する額を輸入した、和蘭の輸入量は

一九一三	一、四八三、〇九七袋
一九一五	一、四八六、九四
一九一六	三六七、七四五
一九一七	一〇五、一二二
一九一八	二、〇〇〇
一九一九	二五二、六〇七
一九二〇	二七六、二〇六

佛國への輸入は

一九一三	一、八四六、九四四袋
一九一五	二、四九九、二二二
一九一六	二、七三五、九五三
一九一七	二、一〇四、二六二
一九一八	三五四、三九八
一九一九	三、三七〇、八二四
一九二〇	一、五三九、九八八

伊太利への輸入は

一九一三	二三七、一二六袋
一九一五	七一〇、八〇〇
一九一六	一、〇五、八二四八
一九一七	一、一〇六、一五〇
一九一八	二〇〇、四三三
一九一九	一、〇〇二、〇七〇

亞爾然丁への輸入額は

一九一三	二四九、〇六〇袋
一九一五	二〇九、九八七
一九一六	二五〇、四二四
一九一七	三〇一、一二一
一九一八	四八六、一六六
一九一九	一九九、八三八
一九二〇	二八五、二九九

●伯國護謨と需用

過去數年間伯國護謨輸出情勢は次表の如くで近年數量價額共漸減しつつあることは著明である

年次	數量 噸	伯貨額	英貨額 千磅
一九二一	一七、四二九	三三、九二四	一、三三一
一九二〇	三三、三五〇	三八、三五〇	三、一五一
一九一九	三三、三五二	一〇五、三五二	六、二四〇
一九一八	三一、六五二	三三、七二六	三、九六八
一九一三	三五、三三二	一〇五、三五二	一〇、三五五

又全世界に於る生産額と消費量は

年次	生產量	消費量
一九一九	三三九千噸	三八三千噸
一九二〇	三六八	三〇三
一九二一	二四六	

自動車工業は生産額の三分の一を消費する、戰前には二百萬輛に過ぎなかつた世界の自動車は一九一八年には八百萬輛を數へ一九二一年には千二百萬輛に增加してゐる從つて護謨の需用も增加しても減少する事はない『ビジチス、プロスペクツ、イヤーブック』は本年に於て價格の增進は期待してゐないが消費量の增大は確信してゐる

●物價表（昨日）

棉花上（エンラーマ）	一アローバ	三六、〇〇〇	
同（エンカローソ）	一アローバ	一一、五〇〇	
米 特等	六〇キロ	三五、〇〇〇	
同 最上等	六〇キロ	三〇、〇〇〇	
同 上等	六〇キロ	二六、〇〇〇	
同 並等	六〇キロ		
同 特等	六〇キロ		
モミ 最上等	六〇キロ		
同 上等	六〇キロ		
同 特等	六〇キロ	二〇、五〇〇	
砂糖 特等	六〇キロ	四二、〇〇〇	
同（マスカボ）	六〇キロ	一九、〇〇〇	
豚脂 聖州産	六〇キロ	一〇八、〇〇〇	
同（南リオ州産）	六〇キロ	一一三、〇〇〇	
マンヂオカ粉	五〇キロ	一六、五〇〇	
メリケン粉（亞國産）	四四キロ	三五、〇〇〇	
同（内國産）	四四キロ	三五、〇〇〇	
豆 ムラチニオ、セツカ）上	六〇キロ		
同（中）	六〇キロ		
豆 ムラチニオ、アク）上	六〇キロ		
同（中）	六〇キロ	三五、〇〇〇	
豆（アランコ）	六〇キロ		
ミリヨ（アマレリニオ）	六〇キロ	一〇、七〇〇	
（アマレロ）	六〇キロ	九、八〇〇	
同（アマレロン）	六〇キロ	九、八〇〇	
同			

伯語講習者に座右缺くべからざる

◆葡和辭典　實價一冊拾貳ミル　外に送料壹ミル

◆伯語講習錄　實價一冊拾ミル　外に送料壹ミル

右兩書共賣れ行き速かにして殘本僅少こなりたれば御入用の方は品切れにならざる内可成早く御購求を願ひます。

伯刺西爾時報社營業部
NOTICIAS DO BRAZIL
CAIXA POSTAL, H
S. PAULO

◇廣　告◇

左記諸君の現住所御一報得度候

平楠太郎　横山橘八　五島菊市
河村末太郎　宮武勘六　竹田森次郎
中牟田榮太郎　野中重助
西留助遺族　荒木丈吉遺族
大塚丑太郎遺族　佐藤清一郎遺族

◆當社貸付者にして最近他轉し未だ屆出なき諸君はその耕地殖民地名、線名等を詳記し御一報被下度候

大正十一年三月

海外興業株式會社伯國支店
Caixa Postal, 1082　S. Paulo

●伯刺西爾曠原の探險

米國　テヲドル、ルーズベルト著
日本　北島湖西子譯

第十章

◆アマゾン經て我家へ(三)

翌朝空船にて降り、一行は午後短距離の旅行を爲し、雨中無人の家に宿り、次の日西方に向つて約五十キロメートルを突破せり、途上屢々七八名を乘せて上流に行く例のバテロンに出會せり、二三は妻子を伴へり、用ゆる撓は尖端切株の如くにして歪めり、之を以て沿岸の木の枝に引掛けつゝ淺き所は棹し昇るなり、川幅はコルンバ邊りのパラグワイ川に均しく、只異なれるは鳥類の少なきことなり、インフェルニノの急流は荷物を搭載せる儘通過し、夕暮大なる家にて二三頭の豚や、鷄鴛等を有せる家に宿れり、不潔なりしも幾多の雞卵を得たり。

翌二十四日約五十キロメートルを降り、南緯七度四十七分にて、カルバナン急流に會せり、屢々バテリオンを見、又沿岸に幾多の家を見たるが皆前に比して稍良かりき、此急流に大なる賣店ありセニョールカリツベ主人なり、沿岸中の富有なるゴム採集者なり、其他の人は皆雇人にして主人は如斯雜兵より出身せるなり、親切にて余の鼻突きカノアを良きものと交換し呉れたり、家は涼しく清潔にして心地よかりし。

此の急流を始めとし、十二キロメートルの間に六ケ所の急流あり、何れも難所にして、或所にては犧牲者四名の墓を見たり、其他屍の見出さるるものも數なからざるを察すれば、此地通行稅も高價なりと云ふべし、若し一行にして尙未明の川の先進者なりせば、二週日以上も危險困難と戰はざるべからざるも、今は只一日半にして無事通過せり、地理は明かにして通路は設けられ、水夫は一流のものにして、冷靜にして大膽なるカリツベ氏自身案內の勞を取れり、六時間を陸送に費し、或る瀑にては カノアのみを流せり、此の瀑下にてきが爲め、九度四分以上には行かず、然るに昨年五名のムンドルクインヂヤ人カヌマ川の九度の點に働き居りしが、昇降共に非常に困難にして然かも、深林中ゴム樹を追ふて放浪し、十五日の後アリブアナン川に出で歸りてその旨を主人に告げたるが主人はそのゴムをアリブアナンに陸送し、茲にてカノアを造りマナオスに直航せしめたり、此等の人は今歸りてアリブアナン上流に働き居れり、ムンドルクス人と伯人との關係は良なるも、ムンドルクス人と蠻人との關係は因襲久しきに亘る敵なり

野營し、ケルミットは大鰐を打てり營地に近く三個の墓標ありて、何れも此急流に死せる人なり。

カリツベ氏のなせる奇談中に、或男ジーバラナ川にてゴム採集中失踪せるが、二十八日目にマデイラ川にて彼を發見せり、豐富なるブラジルナツト、陸龜等を喰ひ、依然たる健康狀態にありしと、目下ゴム採集者はアリブアナン本流上部にゴム樹少なし

●各州支出教育費の割合

伯國の初等教育

◇私立學校數は確でない◇

最近メロ、ソウザ●オレスト、ギマラエス兩教授が調査して、聯邦內務大臣の手元へ提出した統計に依ると▲全國男女別小學校數は一萬六千四百一校で、其內州政治によつて支持されてゐるもの一萬四百四十九校、郡立二千三百五十一校で其の他は私立である。其以外に四千六百三十八級を有する男女混合校五百七十三校模範校四十七校、補習學校百二十八校ある、人口二千八百六十五人に對し州立一校、一萬一千八百五十八人に對し郡立一校、八千七百六十九人に對し私立一校を有する比である。

▲就學兒童最大の州は首都の五割九分、サンタカタリナ州の五割七分、南大河州の五割六分、聖州の四割四分、ミナス州の三割六分等である、又歳出に對し初等教育費の割合の多額な州は、サンタカタリナ州の二割首都の一割七分、セアラ州一割七分聖州一割六分、ミナス州一割五分等で少額な州はバイア州の五分、ペルナンブコ州の三分である、又最も▲多數の郡市立校を有する州はペルナンブコ州の六百、南大河州の五百四十、ミナス州の五百七十一、聖州の四百二十三、バイア州の百八十五等で、ペルナンブコ、バイア兩州では法律でその各郡に初等教育普及の義務を負はしめてゐる。南大河ミナス及びサンパウロ諸州では、その郡市立校の大部分は各郡が、無教育者の減少の爲に自發的に出でたものである。官憲特に聯邦首府なぞでは▲私立學校の數は正確に知られてゐないが兩教授の調査に依ると、聖州が最も多數を有して千百二十九、ミナスは八百八十三、南大河四百二十七、ペルナンブコ六百六十、サンタカタリナ百六十八を算する、全國教育費は四四六、六三七コントス二四一ミル一九五レースで、其內初等教育費は僅に五九、五七〇コントス一五九ミル七六二レース、即ち一割一分にしか當らない。

▲全國學齡兒童數は總人口の一割二分に當り三、五七一、八七七と見積られ、其中就學兒童數は一、〇三二、七五二で僅かに二割九分で七割一分の兒童は不就學なのである、而もこの二割九分中小學校全課程を卒るものは極めて僅かの一部分しかないことを思はぬばならぬ、實に初等教育の普及は伯國當面の急務である。

●禁酒の米人が昔る

砂糖消費高

世萬哩を越さんとする

全世界の海電

◇三分の一は米國資本

紐育ナショナル、シテイ、バンク報告に據れば千九百二十二年より三年にかけ全世界の海底電信は合計三十萬哩を超過し此敷設費總額三億弗に達すべし而して其三分の一は米國資本によりて出來得る者なり

▲元來海電事業は米國人が早くより成功したるものにて千八百四十三年にブロフエツサー●エス●エフ●ビー●モース氏が種々實驗の末紐育とカバーナー、アイランド間に海電を敷き大西洋橫斷の電報に關しても提案をなしたり其後又米國人サイラフダブルユー●フイルド氏とピーター●クーパー氏等が米國と英國間の聯絡をつけん爲め紐育ニューフアウンドランド、倫敦ケーブル會社なる者を千八百五十四年に組織したり▲米國民が海電に關して多額の金と苦心慘憺の經驗は善く世人に說明せられ居らざるも大統領ブキヤナンと英國の女皇ビクトリアとは前記海電によりて通信を交はすを得たりされど米國人の敷設したる此ケーブルは四ケ年の苦辛と數百萬弗の費用に拘らず一ケ月を經ざる內に實用に供せられざるに至りたるを以て茲にフイルド氏は更に英國資本家と協議して再度の敷設をなし千八百六十六年にはニューフアウンドランド、バレンシア間に二線の敷設且つ運用を見るに至り

▲大洋海電も亦米人の努力と稱せざるを得ざる程にて、太平洋の海電敷設は大西洋より延長三倍なるのみか桑港布哇間には海底に於て高山あり深谷あり高き所と低き所とは數千尺の凸凹あり海電の敷設は實に困難にてグアム、ミドウエー、マニラ、日本、上海等の間に一萬哩もありて却々容易の事にあらざるも米國人は之を完成し現在の線路の外に又々一線を敷かんとしつゝありて同時に大西洋にてはアゾール島を經て獨逸に至る線路南米各地への線路を敷かんとし英佛資本も亦新線路を敷かんとしつゝあるを以て遠からず一大發展をなすに至らん云々

中國旅館

▲日本品各種
▲德用醬油
▲ベビーダス、フイノス
▲農產物委託販賣
並に指物業

アラ、クララ線カタンヅーバ市マラニオン街角——郵函九番

野島兵太郎

葡語教授

日本人諸君にして葡語を學ばんと欲する人には短期間にて上達する樣良教授法と親切を以て教へます授業時間午後六時半より十時まで希望者は左記へ問合せられたし

イタジバ、サンチアゴ

Rua Direita, 8-A, 2º andar
Tel. Central, 5765

測量の依賴に應ず

小林弘一郎

Caixa Postal, 9 Catanduva

聖波羅土地材木殖民會社

◆當社は水質良好、氣候溫和にして珈琲其の他の全作物に適する肥沃なる絕好殖民地ビリグイ。エイトール、レグルーの土地を廉價且つ拂込方法を容易にして賣却す
◆當社は既に千八百家族の各國人を有し、其中四百家族の日本人植民し且道路四通八達し兒童教育機關及日本醫院の設備等あり
◆尙詳細は左記宛御照會ありたし

ビリグイ代理人　宮崎八郎
Est. Biriguy　L. NOROESTE

日本貿易株式會社

聖市出張所
Rua Quintino Bocayuva, 80
Caixa, 1714 Tel. Cent. 3449
São Paulo

リオ支店
Rua Candelaria, 90
Caixa Postal, 1246
Rio de Janeiro

FUJISAKI & COMP.

日本品各種

東京本店　赤坂區溜池町卅三
本店　リオ、デ、ジヤネイロ
支店　ベルナンブーコ

藤崎商會

サン、パウロ支店

Rua S. Bento No. 68-A
Tel. Cent. 2788—Caixa, 344
S. PAULO

野菜種子定價表

新鮮なる

アルフアセ、フランセース	百グラム	二、〇〇〇
アルフアセ、マンテーガ	同	二、〇〇〇
セノーラ、二分の一コンプリード	同	二、〇〇〇
シコーリヤ、クレスパ	同	二、〇〇〇
コーベ、トロンシユーダ	同	二、〇〇〇
コーベ、マンテーガ	同	二、〇〇〇
コーベ、フロール、ベ、クルト	同	二、五〇〇
エスピナフレ	同	二、五〇〇
ナーボ、ブランコ、シヤット	同	二、〇〇〇
ピンメントン、ドーセ	同	二、〇〇〇
キヤーボ	同	二、〇〇〇
レボーユ、シヤド、キンタール	同	二、二〇〇
トマテ、ガランデ	同	二、五〇〇

◇小袋一袋壹ミルレース均一◇
◇日本野菜種子各種新荷到着◇

書留送料共

瀨木商店

V. SEGUI

Caixa Postal, 1771　S. Paulo

宗教論壇

●排日解決策（前承）

小林美登利

幾千年來異れる境遇の中に生活して互に異れる容貌體格人情風俗習慣等を有する者が相接觸した場合に起る排斥運動と云ふ樣なものゝ根本的解決と云ふ事は元より難中の難事である、そが相異を來した年代の古い丈け其内容の複雜な丈けそれ丈け其解決も亦困難である。余は數年間排日運動の中心地にあつて其根本的解決策を探して見たが發見し得た處のものは只斯ゝ問題は到底一朝一夕に片付けて了ふ譯には行かないと云ふ事である、其處には一時的外交なんかで容易く決める事の出來ない實に白色人種對有色人種の融合統一と云ふ昨年三月一日崩御せられた、茲に建國二百二十五年の黒山國が終焉を告げたのである。

▲歐洲大戰役の終るや、元埃匈國の内に在りたるスラブ民族―埃太利將た匈牙利より見れば全くの異民族―此の自由意思を決定せしむるには同國に駐屯せる塞爾維軍隊及び塞爾維官憲を撤退せしむべし』との意見が昂まり、英國に於ても上下兩院を通じて五十名の名士が件の決議書を公表し、署名中にはカーゾン、ブライス、グラッドストンの如き第一流の政治家も見えた。然れば黒山國王の存在は實に南スラブ聯邦の脅威で、延ひて列國間の紛擾の種子であつたが、其の本年三月に崩御したるは黒山國の復辟運動に止メを刺したるものである。次で復辟派には王妃ミレナを奉じて伊太利に踏止まり此處に僞政廳を立て居たるも、昨年十月に入り王妃は右の政廳を解散したるを以て、黒山國なるものは是に至て全く寂滅したのである、又是に至つて南スラブ聯邦には其の基礎は正しく鞏固となるべきである。

●コンキスタ便り

仲眞生

稻の香薫るミナスより一書拜呈仕り候。今年は一般に降雨少かりしため農作物は各線共に旱魃の害を被りしも、今年は頓と減少致し候。

即ち播種期十、十一の兩月に降雨尠かりし故セッカの高地に稻を蒔きし一米が不作に遭ひ、價格暴落せむか恐らく又々他線へ轉ずる者頻出するにて着々健實な歩調を進めつゝあるを見て喜に堪えなかつた。北米で排日熱が盛んだなどゝ云ふと在米同胞は現象を示して居る。故に我等は排日今にも滅亡するかの如く豫想する者あるが事實は全々之と異つて排日運動の起る度毎に日本人の品性は高められ、其事業上には却つて一段の進歩發展を來して居ると云ふ不思議な地帶は大部分河畔の濕潤地に御座候へば、今度の旱魃には稻の手入をなすに却つて雜草が能く枯死するを以て好都合となりし人も少からず候。今迄の經過より見れば、比較的天候は順調と申すべく、稻の成績も良好と存せられ候。

昨年と一昨年の米價暴落の結果成金の夢想は一朝にして破れ、一敗地に塗れて四苦八苦、望を失ひし同胞の中には逸早くも米作なるものに見切りをつけて古巢戀しと元の珈琲園へ舞ひ戻る者、或はカンナ園へ落ち延び者續出し、同胞の數頓に減少致し候。

●リオドペイシ便り

ぎのざ生

昨年の末旱魃にて懸念しつゝ稻の除草せしが、今年正月になりて降雨打ち續き、枯死せんとせし稻は勢ひ能く生へ延び青疊を敷いたる樣な稻畑は變じて黄色に變り初め、農家は收穫の到來を樂しく待ちつゝ各自の收穫豫想に樂しく日を送りつゝありまず、殊に當地方には昱れまで停車場なく大いに不便を感じて居たが、目下停車場工事中にて來る四月一日事務開始の由にて在留民の喜悦斜ならずです。去月二十日リオドペイシ在留日本人同志會開會致しましたが近事と推測致され申候。

●大正十年度に於ける 一寂滅國と四新興國（一）

志賀重昂

◆亡國黒山國（モンテネグロ）

佛蘭西國都巴里の青山七丁目―東京市にて申せば―とも云ふべき市に全く接續せる市外のチウイー町に黒山國正統政府なりと銘を打ち、策士プラメーナッツに擁せられつゝ君臨し居りたる黒山國王ニコラス第一世も昨年三月一日崩御せられた、茲に建國二百二十五年の黒山國が終焉を告げたのである。

▲歐洲大戰役の終るや、元埃匈國の内に在りたるスラブ民族―埃太利將た匈牙利より見れば全くの異民族―此の自由意思を決定せしむるには同國に駐屯せる塞爾維軍隊及び塞爾維官憲を撤退せしむべし』との意見が昂まり、英國に於ても上下兩院を通じて五十名の名士が件の決議書を公表し、署名中にはカーゾン、ブライス、グラッドストンの如き第一流の政治家も見えた。然れば黒山國王の存在は實に南スラブ聯邦の脅威で、延ひて列國間の紛擾の種子であつたが、其の本年三月に崩御したるは黒山國の復辟運動に止メを刺したるものである。次で復辟派には王妃ミレナを奉じて伊太利に踏止まり此處に僞政廳を立て居たるも、昨年十月に入り王妃は右の政廳を解散したるを以て、黒山國なるものは是に至て全く寂滅したのである、又是に至つて南スラブ聯邦には其の基礎は正しく鞏固となるべきである。

▲茲に又青山七丁目とも云ふべき政廳にはプラメーナッツが居つた、辣腕の策士で、各國政治家の間を奔走して黒山國王の復辟を謀つた。それかあらぬか各國名士の間に『黒山國は黒山國人の黒山國たらしむべし、此の自由意思を決定せしむるには同國に駐屯せる塞爾維軍隊及び塞爾維官憲を撤退せしむべし』との意見が昂まり、英國に於ても上下兩院を通じて五十名の名士が件の決議書を公表し、署名中にはカーゾン、ブライス、グラッドストンの如き第一流の政治家も見えた。然れば黒山國王の存在は實に南スラブ聯邦の脅威で、延ひて列國間の紛擾の種子であつたが、其の本年三月に崩御したるは黒山國の復辟運動に止メを刺したるものである。次で復辟派には王妃ミレナを奉じて伊太利に踏止まり此處に僞政廳を立て居たるも、昨年十月に入り王妃は右の政廳を解散したるを以て、黒山國なるものは是に至て全く寂滅したのである、又是に至つて南スラブ聯邦には其の基礎は正しく鞏固となるべきである。

●汽車時間表

◆パウリスタ線 市發 聖

（サンカーロス止り）
○五時三〇分
○七時四二分（パレットス行き…アラ、クラ線へ連絡…パウルー方面…ドウラデンセ線へ連絡）
（サンカーロス行き…パウルー方面）
○九時二五分
○一七時（土曜はイチラピーナにて乘替へパウルーに六時一七分着直ちにノロエステ線に連絡し得）

◆モジアナ線

（リベロン行き）
○五時三〇分
（カザブランカ止り）
○一九時一〇分（リベロンを經てカベラバへ）

◆ソロカバナ線（パウルー及サルトグランデ）

○六時一三分（土曜日の外毎日サルトグランデ經由インデアナ方面へ連絡）
○一八時一八分（月、水、土曜の三回パウルー行き）
○二〇時五分

◆サントス…サンパウロ間

サンパウロ發	着	サントス發	着
時分	時分	時分	時分
五、五〇（日、祭限）八、一〇		八、三〇	九、五二
六、〇五	八、三五	六、（月曜限）	八、三五
七、一〇	九、三〇	七、一〇	九、三〇
八、一〇	一〇、三〇	八、一〇	一〇、三〇
九、一〇	一一、三〇	九、一〇	一一、三〇
一〇、一〇	一二、三〇	一〇、一〇	一二、三〇
一一、一〇	一、三〇	一一、一〇	一、三〇
一二、一〇	二、三〇	一二、一〇	二、三〇
一、一〇	三、三〇	一、一〇	三、三〇
二、一〇	四、三〇	二、一〇	四、三〇
三、一〇	五、三〇	三、一〇	五、三〇
四、一〇	六、三〇	四、一〇	六、三〇
五、一〇	七、三〇	五、一〇	七、三〇
六、一〇	八、三〇	六、一〇	八、三〇
七、一〇（五六月曜限）	九、一〇	七、一〇（五六月曜限）	九、一〇
八、一〇	一〇、一〇	八、一〇	一〇、一〇

日本雜誌書籍大取次

軍備縮小の協約成立と共に戰鬪的腕力時代が姿を隱して、智力競爭の時代となりました。其處で今後社會の表面に立たうとするには、個人銘々が智識を磨き、見聞を廣むるが當然の順序で、茲に我が社は其の泉源たる故國の雜誌及び書籍の新刊物を、多方面に且迅速に取次ぐことを更に大々的に企圖いたしました。冀くは大方の諸君、我が社の意の存する所を諒せられ、左の規約に基き陸續御注文あらんことを。

◆日本雜誌、書籍取次規約

一、『伯刺西爾時報社』の雜誌、書籍取次部を經て、日本より雜誌、書籍購讀希望の方は左の割合を以て代金に購讀書目を添へ申込むべき事

（イ）雜誌代金
は日本金拾錢を伯貨四百レースに換算し之を二倍したるもの（即ち一冊の定價日本金貳拾五錢ならば伯貨貳ミルレースの割合）にして、一ケ年分の冊數代金に對し前金拂込の事

（ロ）書籍代金
は日本金一圓を伯貨四ミルレースに換算し之を二倍したるもの（即ち一冊の定價日本金壹圓五拾錢ならば伯貨拾貳ミルレースの割合）にして、注文冊數定價合算に對し前金拂込の事

二、雜誌
書籍取次方法は購讀者より注文を受くるや、取次部は直に之を日本の特約書店に通知狀を發し、一旦本社取次部へ受入れ更に書留郵便又は其他確實なる方法を以て、之を購讀者に轉送するものにして、送料、關稅及其他の費用は總て取次部の負擔とす

三、雜誌、書籍購讀注文者にして、日本に於ける本社取次部特約書店若くは發行元より直接郵送を乞はるゝ場合は、第一項（イ）及び（ロ）の割合代金中より二割を割引するものとす、但し此場合關稅等は購讀者の負擔たるべき事

四、本社取次部の取扱に關する雜誌及び書籍は、最善の方法を盡して萬遺算なきを計るも、郵便局管内に於ける所謂不可抗力なるものに關しては、本社其責を負はざる事

五、取次雜誌、書籍は時々其目錄を『時報』紙上に廣告すべきも、尚其れ以外の雜誌、書籍たりとも、有害ならざるものなる以上は廣く注文に應する事

右三月三日より從來の取次部を更に整理して廣く御注文に應ずべければ此機會を逸せず御注文あらんことを願ひます。

伯刺西爾時報社
雜誌、書籍取次部

悔恨 (二)

アルフレツド　馬場乙雄

(ある夢の一節)

俺は到々見あぐんで微風に躍る綠葉に眼を轉じた。と何の驚きもなくゴンドラの歌は靜に落付いて唇を漏れた。

間もなく俺の歌の調子につれて、恰も、それから生れ出たかの様に、時鳥の啼く聲が、直ぐ近くの、森の中からのどかに、流れて來た。

俺が歌へば鳥が啼く、俺が止むれば鳥が啼き止む、然も始めは時鳥の聲であつたが、次第にゴンドラの調に合せて俺と同じ様に高く低く歌ふ。俺は周章てゝ、聲のする方を振向いた……と其處にちやんと籠に飼つた、時鳥が吊してある。……オヤと思ひ乍ら籠の時鳥を見る爲に石を飛び下りた……途端ザワ〳〵と頭上に恐ろしい羽ばたきの音がしたので、ギヨツトして首を縮込め乍ら頭上を見ると、恰度極樂鳥の様な美麗な羽根を持つた小指位の鳥である。

馬鹿にされた様な腹立しさはあつたが、それは一寸心を掠めて通つた丈で後には、其小鳥の行末を見張る鋭い視覺の働きのみが殘つた。

それは極彩な翼を操つてヒユ〳〵と飛んで、時鳥の這入つた籠の横窓にチヨイと足を懸けて立つた全身を兩の小さい足に甘く支へて、頭と尾とを反對に振つて、コツ〳〵コツと籠の目をつゝいて居る。

俺は鳥に氣付かれない程、靜な輕い、足取でコツソリ近づいてチヨイと捕へてやらうと、波立つ胸をジツト忍んで息をもつかず二足三足……やつと籠に近づいた、鳥は氣付かない、今だと思ふ所で擴げた手を伸ばさうとした。

折も折も時も時……　誰だ！　晴天霹靂百雷一下……。

この物音に俺は、電氣に觸れた様にブル〳〵と振へた、恐ろし者見たさに一寸後を振返ると、天から降つたか、地から沸いたか、頭拔けて大兵な然も二目と見られない汚ないなりをした、眞黒な人間が、容貌と言つたらまるで鬼の面とも人の面とも見別けのつかぬ男がニユと立つて居るそして恐ろしく落ち窪んだ眼壺の奥に、爛々と物凄く光つた眼は、まじろきもせず俺を瞰んで居る。

冷水を浴びせられた様に總身がわなゝ、逃げ樣と周章てゝも地面に引き付けられた様に、身動きも出來ない。

藻掻けば藻掻く程足はすくみ體は自由を失ふ。救を求め樣としても聲が出ない。祖母達はこの有樣を知つてか、知らいでか、體も動かさねば顏も動かさず、以前座つた時の姿勢其儘に、神樣の樣に靜かである。それがそこに見える、俺には判然見える、あゝ俺は、今この妖怪に、摑み殺されさうなのに……如何したら如何したらと滿身の勇を鼓して逃げ樣とするが上半身丈けしか動かない。さうして藻掻いて居るとずつと何所か遠くの方で、大勢の小供の群が、太鼓をたゝいたり、笛を吹いたりして歌ふ聲が、恰度夢の世界で聞く樣に意識の表に現れ出した。

この騷ぎにハツト呼び返されて確な心に返つて見ると前に倒れて居る。倒れた儘以前の妖怪はと、見れば、それが顯れた時の樣に何時の間にか消え失せて居る。

小說　奴隸の娘 (八)

ベルナルド・ギマラエス

マルビイナは宮廷出入の、采領とも友人同志な、富貴な御用商人の娘で、早くから双方の親の間には、レオンシオと結婚させることに諒解がついてゐた。采領の家族が宮廷へ參向した折、相見た二人の若者は、譯もなく愛し合つて、好事魔多しと手取早く、數日の後には結婚式が擧げられた。結婚後幾何もなくレオンシオは、急病の爲めに母親を失つて、悲しい涙に暮れねばならなかつた。

彼の母親は聖女のやうに、温い心を持つた女だつたが、其の夫との內生活は、餘り幸福なものではなかつた、その夫は冷たい凋いた無趣味な男に有勝な、聖女だとか、夫婦の仲の純潔な愛情とかは解し得ずに、心のまゝの放逸遊蕩で、日夜優しい妻の心を悲歎に亂さした。不幸な上にも不幸だつたは、彼の女は多くあつた子供が、皆頑是ない時分に死んでしまつて、レオンシオ只一人殘つた事である。最初の中は、樂もなく老い行く身に、話相手ともなり慰め手ともなる、せめて一人でも娘を、なせに殘して下さらなかつたらう、と天を仰いで神樣に愚痴つた事も度々だつたが、奇しい運命のきづなで、その情深い心に觸れた、可憐い一人の女を、自分の家の中に見出して、不幸の慰相手としてあきらめてゐたそして單調な不快な中に日夜を過した家庭は、幾分か悲しさや寂寥が薄らげられたやうだつた。

奴隸の娘が生れた、赤ん坊の時から、人を引き付けるやうな可愛らしい彼の女にそれは消えやらぬ味氣なさ、おとなしくつて活潑なのが氣に入つて、親切な老夫人は我が子のやうに世話をやいた。それがイサウラである。

イサウラは長い間、采領夫人の忠實な、そして氣に入の腰元であつた美しい薄黑の奴隸の娘であつた。采領は放逸な思慮なき男の常として、奴隸の女共を土耳其王がその數多い王妃等を見るやうに眺めたり、この温順な美しい腰元に、肉に飢ゆる狼のやうな、燃ゆるやうなそして淫はしい視線を投げたりした。腰元は隨分暫くの間は彼の亂暴な要求をしぞけてはゐたが、遂には絶へざる威嚇や、暴力に從はせられてしまつた

この破廉恥な、野獸のやうな振舞は、貞操な妻の眼に間い間觸れさせないわけには行かなかつた。そして彼の女にそれは消えやらぬ味氣なさを感せしめた。

時報歌壇

親

くれない生

我が子の顏を見守れる
母の姿のいたましき宵。

◇いさゝかの事にも母にさからへる
蕩兒の如き此頃の我。

秋の日　魯毛生

◇こつ〳〵と啄木鳥の音冴え渡り靜に秋の日は暮れんとす

◇うすぐらき大森林を貫きてゆたかに流るピラシカバ河。

話の種

▲彗星の氣温は溶鑛爐の温度より二千倍の高さだと計算せらる

▲一番猛烈だつた暴風雨の記錄は一七九三年一月廿一日にブエノスアイレスを見舞つたそれであるこの暴風雨には落雨が三十七あつてそれに打たれて死んだ者が十名あつた

▲多年輕驗のある？乞食の談に紐育のいゝ場所で腕のいゝ？乞食は一時間に四十弗のおもらいにありつくのはお茶の子で女や子供の方が男より氣前がいゝと

口臭所の友

◆コ、のボーロ

鷄卵六個の卵白をよく掻き交せ六個の卵黄と砂糖八匙とを加へ便に掻き長しその枝は天に聳え梢には麗爛と交せる次に下しにかけたコ、半分と小麥粉八匙、牛酪四匙とを加へ泡立つまで掻き廻し牛酪をしき紙を敷いた型に盛り熱い蒸爐へ入れて蒸す

一週一笑

◆決鬪

『……それは侮辱の極だ、さあ名譽の爲めに吾々の中どつちか名譽の爲に倒れやうぢやないか……』

『よろしいとも、遠慮なく君が倒れ事があるんだから……。』

ハガキ小品

▲夜が明けやうが、日が暮れやうが、悩い聲で泣き續ける蛙よ、何を歎いてお前はそんなに泣くのか、若き歡樂の去りゆくのを惜んで泣くのか、病める吾が身を悲しんで泣くのか私はたゞ思ふまゝ泣く事の出來るお前を羨む（ジユキア虹衣郎）▲傲慢で飽くことを知らない富める者の手は人間をそして自然をも虐げ、宏莊な邸宅が築かれその庭には草木花卉あらゆるものがいつも斷えることがないわが愛する木よ！お前の枯れる時が來たお前は百年あるは二百年の間成しい親線を投げたりした。腰元は隨分暫くの間は彼の亂暴な要求をしぞけてはゐたが、遂には絶へざる威嚇や、暴力に從はせられてしまつたこの破廉恥な、野獸のやうな振舞は、貞操な妻の眼に間い間觸れさせないわけには行かなかつた。そして彼の女にそれは消えやらぬ味氣なさ、おとなしくつて活潑なのが氣に入つて、親切な老夫人は我が子のやうに世話をやいた。それがイサウラである。

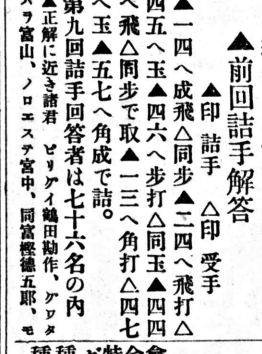
イサウラは長い間、采領夫人の忠實な、そして氣に入の腰元であつた美しい薄黑の奴隸の娘であつた。采領は放逸な思慮なき男の常として、奴隸の女共を土耳其王がその數多い王妃等を見るやうに眺めたり、この温順な美しい腰元に、肉に飢ゆる狼のやうな、燃ゆるやうなそして淫はしい視線を投げたりした。腰元は隨分暫くの間は彼の亂暴な要求をしぞけてはゐたが、遂には絶へざる威嚇や、暴力に從はせられてしまつたこの破廉恥な、野獸のやうな振舞は、貞操な妻の眼に間い間觸れさせないわけには行かなかつた。そして彼の女にそれは消えやらぬ味氣なさ、おとなしくつて活潑なのが氣に入つて、親切な老夫人は我が子のやうに世話をやいた。それがイサウラである。

イサウラは長い間、采領夫人の忠實な、そして氣に入の腰元であつた美しい薄黑の奴隸の娘であつた。采領は放逸な思慮なき男の常として、奴隸の女共を土耳其王がその數多い王妃等を見るやうに眺めたり、この温順な美しい腰元に、肉に飢ゆる狼のやうな、燃ゆるやうなそして淫はしい視線を投げたりした。腰元は隨分暫くの間は彼の亂暴な要求をしぞけてはゐたが、遂には絶へざる威嚇や、暴力に從はせられてしまつたこの破廉恥な、野獸のやうな振舞は、貞操な妻の眼に間い間觸れさせないわけには行かなかつた。そして彼の女にそれは消えやらぬ味氣なさ、おとなしくつて活潑なのが氣に入つて、親切な老夫人は我が子のやうに世話をやいた。それがイサウラである。

●第十一回詰將棋

角兵衛

詰手方持駒　角、金、金、銀



●第十一回詰將棋解答

▲前回詰手解答

▲印　詰手　△印　受手

▲一四へ成飛△同歩▲二四へ飛打△四五へ玉▲四六へ歩打△同玉▲四四へ飛△同歩で取▲一三へ角打△四七へ玉▲五七へ角成で詰。

第九回詰手回答者は七十六名の內

▲正解に近き諸君　ピリヂイ鵜田勘作、ケアタパラ富山、ノロエステ宮中、同富樫德五郎、モヂヤナ重岡傳太、カリンス生の諸氏以下畧す

▲正解者　福島耕地鳴原喜市、プロミツソン驛木村末松、レヂンソン耕地平井猶榮、ノロエステ大內今朝松、リオ市華潮生、モヂヤナ松尾末男、同岡野政次郎、プレジヨン殖民地KN生、同角助、同阿彌陀堂、ノロエステ藤澤の諸氏

今後の回答者は特に住所姓名を見解けやすく書いてください

新しい種子物

種子は新しく發芽生育は請合、各種野菜草花の無類上等の種子は、多量取揃へ飛切の廉價で販賣、若し當商會販賣の種子で芽が出なかつたら代金はお返し致します　特に當商會の自慢はカナリア、アルゼンチン及びリオグランデの玉葱の種子

CARLOS CORRADINI & CO.

Rua S. Caetano, 42, S. Paulo

AFFONSO RIOS
Praça da Republica, 62 Sob.
Caixa, 454 = Tel. 2293
SANTOS

サントス港に於て日本其他外國から來た荷物の通關手續に最も永い經驗を有し最も廉い手數料で勉强して居るのは弊店であります

サントス港　アフォンソ、リオス商店

拜啓　弊工場開業以來日尙ほ淺きにも不拘同胞諸彦の御引立を蒙り日に增し繁榮に趣き候段御厚意奉深謝候弊工場製作品（H印及物）の特徴は其の切れ味の優良なる事他に比類なきは既に御求めなされ候方々の御評判にても明かに候が拙者之に滿足せず今般更に工場の擴張を圖り農具は勿論其の他一切の金物に對し精々吟味すると共に可能得る丈の廉價を以て貴需に應ずべく候得ば何卒舊倍の御愛顧を給はり度く奉懇願候

H印鐵工場　サントス港　平田初太郎
Caixa Postal, P. P. SANTOS

プロゼシタダ三四街二三番　エスタソン、ジユキアー際

カーザ東京
家具商　杉本芳之助
Rua B. de Itapetininga, 20 S. Paulo

◆試みよ一日に十三俵の籾を扱ひ落すの

機轉輪王大の扱稻

◇營業課目

稻扱輪轉機
プランタ器械（但し兩手、片手）
稻刈鎌其他農具一切
獨逸製噴霧器

工藝諸機械の進歩せる世に唯だ一つ遲れたる稻扱機械は此の大王輪轉の現出に依つて補はれたり

ノロエステ線
プロミツソン驛
郵函四六番

元祖　尾形好松
發賣元　澤野松太郎
森山大二

新着荷

●日本野菜種卅種
●中將湯（其他新藥澤山）
●實母散
●稻苅鎌、土佐物上等
●最上セボーラ
●レツポーリヨ（其他當國種子一切）
●新サツコ　百リットル　一、四五〇　八十リットル　一、三五〇
●古サツコ　百リットル　一、二〇〇　八十リットル　一、〇〇〇
●豆、ミーリヨ（高價買入）
◇日本金

日本品各種織物雜貨類農產物仲買新古袋販賣

K. NAKAYA
Rua C. de Sarzedas, 69 S. Paulo

中矢商店

日本近信

●巨人大隈侯の壯嚴なる船入式行はる

◇愛用の松葉杖も棺に納めて◇

世界的巨人大隈重信侯は霜冷たき一月十一日夜遂に土に葬らるべく棺の中に入つて終つた、船入式は

▲九時に　初まる參列者は綾子未亡人、信常氏を始め近親知己の友二十數名、六尺五寸に三尺、深さ二尺八寸の寢棺の中へ、家從等が先づ巨人を擔ぎ入れた次で綾子未亡人の指揮で、久滿子、光子の兩人は侯が生前▲愛用して　てゐた品々、蟲冠、齊服れし後發表せられたり。薨去の報畏フロックコート端溪の硯、靴、膝掛け夫れに、不自由を助けた義足と松葉杖を入れて神の國で躓かれ樣との心遣りも涙ぐまれた、綾子未亡人は黑紋附白襟で終始氣を強めて遂に涙を見せなかつたが、久滿子、光子及び絕えず祖父樣になついた令孫豐子さん達は思はず泣伏した之に連れて▲列席の　男の口から不覺の嗚咽が洩れるのであつた、森閑として奥十二疊三十分の悲愴なる光景は眞に偉大なる歷史の挿話であつた、其間、故人は白羽二重三枚重ねを身にまとひ、顏を白羽二重、其上を黑布に蔽はれて、永久に此世から蓋をされる棺は下に綿、其上に白絹を布いた總桐である、式が終ると直に棺は三十六疊の

▲書院　に移され此室は侯の尤も愛した室で、床の間から疊の上から一切白布を布きつめた、棺は北向きに置かれ、神燈一對、榊一對は嚴かに靈柩を守る、此處に於て改めて禮拜式が執り行はれ未亡人から初めて前記の諸氏の外に箕浦、尾崎、若槻、大島(健)濱口、江木、內藤、志村、浮田、金子の

▲諸氏が　尤も敬虔な態度で、順次に神拜した、斯て、巨人大隈侯は全く柩中の人となり了つたのである、時に午後正に十時、十七日の故大隈侯葬儀當日は勅令に依り一個旅團を儀仗兵として差遣はす旨其筋より大隈家へ御沙汰があつた當日儀仗兵は先づ大隈家に至り夫れより隊伍をなして齋場なる日比谷公園迄附隨した

東京電報、北米通信　(二月十五日)

◆山縣公は國葬

二月一日夕薨去せる山縣有朋公の喪は種々なる事情の爲め暫く正式發表を見ざりしが東京目白の本邸に遷さ

▲延長說　を唱へ其結果臺灣同化成立したるも根本義を誤れる爲め遺憾乍ら効果を奏するに至らなかつたが前總督は依然として此內地延長說を固守せるが凡ての點より見て同化は不可能にして總臺灣議會設置は尤も適當なる政策と信ず予は數回此設置請願

▲運動を　なしたものであるが當初の請願には加盟者百三四十名に過ぎないのが今では五百名以上に達し其他智識階級は總て余の主張に贊成せるも官憲の壓迫を怖れ表面意志を表示する能はず而して臺灣文化總會の如きも

▲掩護を　與へつゝあれば余としては此問題は一朝一夕に解決するを得ず、幾多の盤根錯節に會すべきは豫想すべく畢世の事業として此問題に衝闘すべき覺悟である』と

●朝鮮で美術展

△總督府主催の文化運動

總督府は文化促進の爲め內地に於ける文部省美術展覽會に倣ひ朝鮮美術展覽會を本年五月頃第一回として開催する事となり外に朝鮮美術家二十名を總督府に招待し打合せをし審査員規定展覽會規定を發表した、右に據れば美術品は三部に別ち第一部東洋畫、第二部西洋畫及び彫刻第三部書『書は韓の文書で文部省展覽會では美術として認めてないが朝鮮では之をも美術品と認めるに決定した』

◆大連會議圓滿進行

久しく中絕せる大連の日露會議は圓滿に進行し始めたり日本の露領撤兵及び露領樺太占領の問題は近日解決せられん

◆憲政會上奏案提出

憲政會は五國海軍制限協約に裁可せられざるべく上奏すとの決議案を議會に提出せんとの風說行はる

◆諸造船所合同協議

川崎、浦賀、三菱、淺野及び橫濱の諸造船所は二月上旬資本合同の協議會を催す事に決定せりされど全部の合同は困難にて一部分の合同のみ行はれんと觀測せらる

◆井出海軍次官病氣

井出海軍次官は胃癌に罹り休養することゝなれるを以て艦政本部長岡田啓介中將は次官事務取扱ひを命ぜられたり

◆臺灣高等學校

臺灣總督府は今年度から七年制高等校を設置する豫定で既に豫算も議會を通過したので四月から開校する

▲帝國飛行協會にては十七日の故大隈侯國民葬當日飛行を以て弔意を表する爲め洲崎飛行場より葬場なる日比谷公園に至り、上空を三週する由で操縱飛行士として小栗常太郎氏が其任に當つた

▲總長を　失つた早稻田大學では弔意を表する爲めに十九日まで休校するでもあつたが一月八日から三日間上總溪附近にて之れが始めての實彈發射の試驗を爲すべく小林大尉以下將卒百二十名は野砲六門を以て八日出發したるが同砲は我が陸軍にて始めて製造したる最新式野砲にして着彈距離は從來の野砲の約三倍に達する威力あるものなりと

●我陸軍の新威力

四街道陸軍射擊學校研究部では小林大尉主任となり豫て陸軍省技術本部の考案に係る新式野砲實力の研究中であつたが一月八日から三日間上總溪附近にて之れが始めての實彈發射の試驗を爲すべく小林大尉以下將卒百二十名は野砲六門を以て八日出發したるが同砲は我が陸軍にて始めて製造したる最新式野砲にして着彈距離は從來の野砲の約三倍に達する威力あるものなりと

●石器時代の石竈發見

考古學者として知られて居る九大醫學部教授中山平次郎博士は福岡縣絲嶋郡內に最古の石竈製造所のあつた所だと斷定を附け、爾來屢々之が發見に努めてゐたが、今期の冬季休暇中同郡長原に於て又々數箇の未製石竈の破片と八九箇の未製或は之が原料たる粘土樣の物を發見するに至り石器時代に於ける石竈製造所の所在地たることを確實にした

●藝者に崇れた平和博餘興

平和博覽會諸般の準備に忙しい昨今端なくも全市の藝妓屋組合がその手踊出演を拒絕せんとする問題が持ち上つて、人氣中心の同會では尠からず頭を惱して居る、過日全國藝妓屋同盟會本部で開かれた幹事例會の席上にも種々意見の交換を見たが、何しろ曩に出演內定した市內二十組合の內十三迄も拒絕を東京支部に宛て申込んで來て居るので今の所出演復活は六ヶ敷い情勢で、こは例の藝妓業增稅問題の經緯が絡んで居て一等地と二等地の新區分に螺る感情やら惹いては連年增稅されて來たのに此際尠らぬ費用を掛けて迄餘興寄附は出來兼ねるとの意見で上演拒絕となつた次第で目下支部の幹事は調停盡力中である

●臺灣同化不可能說

△總臺灣議會設置が必要

臺灣の新人林棄洞氏一行は一月九日備後丸にて門司着、東上せるが其談會員の出火現場に出入する事を制限し會所在の出火の現場には在鄉軍人團の

▲幹部丈　が出入し各青年士は在鄉軍人同樣特に依頼される外は第一、第二の非常線の警戒をして警官を應援する事に改められ以て消防隊の活動を容易ならしめる事にしたと

◆日本人に對する法律事件の相談

辯護士　ジョアキン、デルフイノ、リベーロ、ダ、ルース

事務所　總領事館同建物四階十四號室

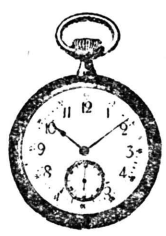
Dr. J. Delfino Ribeiro da Luz

L. da Sé, 3, 3º. andar Sala, 14 S. Paulo

GARAGE MIKADO
Torpedinho Overland
40 Telephone Cidade 40
Estacionamento de Av. São João, 140
A hora na Cidade 8$000

●●●●貸自動車業
北米製最新式
開放自動車
市內一時間八ミル
電話シダーデ四〇
アベニーダ
サンジヨアン
一四〇
林岩松
龜井干男

Orvalho de Flor
花の露印醬油
K. Outa & Cia.
聖州衛生局の試驗を經て美味且つ滋養に富める優等製品に候へば是非一度御試用被下度尙今後益々勉强精製致し候間何卒倍舊の御愛顧賜度伏して願上候
釀造主　太田吉太郎
コンデアサルセーダス街九一番
特別販賣所　山田隆次
コンデアサルセーダス街六五番



修繕は
齊藤時計修繕所
ルア、コンデ、サルゼーダス八三番

純良
醬油
マヤジフ
ニガ味のあるキ、の薄い醬油にお困りの御家庭は
一度お試し下さい
わたくしが自慢で造つた眞の味とキ、目の二倍ある

獨逸機械
農具一切直輸入商　ブロンベルグ商會
ポンプ類各種
押上喞筒、吸上喞筒、排水用喞筒、「ジヤツピイ」喞筒、水力自働喞筒、葡萄酒及び油類用喞筒、畜尿用喞筒等各種、風力モートル、蒸氣喞筒、遠心力喞筒電動機付、其の他水管、鐵管、ビストン、弁、鐵棒、等
喞筒附屬品一式
BROMBERG & CIA.
Rua Quitanda No. 10
Caixa Postal, 756, S. PAULO

例年に比べて

雨量の多かつた二月

……太陽の黒點と關係がある……

晴れたかと思へば降り、定めあへぬ浮氣つぽい天氣に、うつかり外出もならず、傘と合羽は離されないほど飽き〳〵する梅雨氣分、いつまでかうした天氣が續かうか、聖市氣象臺長ベルフホルト、ド、マットス博士は二月中の氣象に就て語る

▲目下は雨期だからとは云へ、今年は少し雨が多過ぎる、今年の二月の降雨量は、これまでの二月の平均雨量を遙かに越へてゐる、此の降雨は新年の始めから、我が熱帶夏期の高氣温は、高密度な濕氣層を伴つて、聖州南部に襲來したからで、之は植物の繁茂には非常な天惠であつた。然し珈琲園の多くは、雨量が多過ぎた爲め雜草が無暗に茂り合ひ、手入れをするのに非常な勞力を要せしめ同時に珈琲樹の發育を害し、結實に影響して收穫の減少を免かれないかも知れない。頗るよく生育して

▲豐作をうたはれてゐた各地方の綿は、雨の爲にクルケレに侵され出して、豫ての目算が外れ相だと云ふ報告が多くある。之に反して雜穀の爲には滋雨で、豐作を見込んで禍々である、又牧草の繁茂にも都合よく、從つて家畜に健康と肥滿とを與へ、只バレットス附近に輕症の鷲口瘡の發生があつたに過ぎない

▲猛雨や龍卷等が諸方にあつて、鐵道、道路の破損、河水汎濫橋の流失崖崩れ等の被害は頻出した。市内に於ても晴天は少く、北西の風が多く吹いて二月平均温度としたら平均より〇、六度高かつた。又州内二十九ケ所の測候所からの觀測報告を綜合すると、今年の二月の雨量は平均雨量より十五ミリメートル多かつた

▲不安定な氣壓の停滯が、季節變更前から曇り勝な、降りみ降らずみの天氣となつたので、この低氣壓がどこへか消へ失せて仕舞はない間は、三月上旬中も同樣な狀態を繼續するものと見なければならない。天文氣象から觀測して、二月中には太陽の黒點が著しく大きく見へたは一人無になつても耕地は草で埋まるとも國權を擁護して屈辱的條項に印を押すまいといきり出し國民聯合會が此の爲めに國交の親善を傷くるなどなだめる等愈〻突を上げたが遂にフ紙は角を折つて責任記者の首をはねて降服の意を示したので漸く鳧した

▲此の太陽の黒點の大きく見へる時は、太陽活動の最少時で、之が天候〳〵と非常な關係がある、即ち太陽活動最少時には降雨や雷鳴が多いのである、太陽が月に樣々な影響を及ぼすのみならず、地上氣象にも大關係のあることは忘れてはならない』云々

●日貿の岩淵氏

伯國に歸化

昨年九月伯國歸化に粟津金六氏を出したるリオの日本貿易會社支店にては去る二日又岩淵彪夫氏の歸化を見たるが伯國で活動せんとするには兩者の如く此の國に歸化するが利益也

●妹に戀慕した義兄を

殺して河に捨つ

バウリスタ線アニユウマス耕地に働く東京麻布の太田勇藏(二四)の義兄同恒藏(四八)は持つて生れた狷々根性で大分世間樣へ迷惑をかけて來たが去る大正十年勇藏を家長として渡伯したが女拂底の土地へ來て一層募る意地汚さ家長が自分の妹を妻にしてゐるんだから家長の妹を拜借に及んだつて相殺して差引文句は零だらうとチヨツカイを出すのでアニユウマス河の流れは止つても家庭に風波は絶えなかつたが去る二日も曉かけていがみ合ひでん手に得物を持つて毆りあふ中どう打ち所が惡かつたか恒藏は黄泉の人となつたので今更驚き其の夜密にアニユウマス河に投げ捨てたのを翌日河遊びをしてゐた子供等が死體を發見して大騒ぎとなり警察へ急報すれば係官出張して嚴重に取調べの結果勇藏は前記の次第を逐一自白に及んだので何はともあれ立ちませいと揚屋へこそは入りにける

●小包に寫眞を入れると

關稅を取られる

小包郵便を日本から出す人がよくその中へ家族の寫眞等を入れるがそれがこちらへ着いて受取る時になると一枚でも十八ミルレースの關稅を徴收される税表にも寫眞と云ふ項目で出てゐるのだから苦情も云へないがつかり雜誌の間等へ挾んで小包で送ると三十ミル餘も支拂はせられる、小包で送つてよこした者があつたが小包郵便を日本から出す人がよくその中へ家族の寫眞等を入れるがそれがこちらへ着いて受取る時になると一枚でも十八ミルレースの關稅を徴收される税表にも寫眞と云ふ項目で出てゐるのだから苦情も云へないがつかり雜誌の間等へ挾んで小包で送ると三十ミル餘も支拂はせられる、小包も四冊ほどの雜誌を箱入にして

10 de Marco de 1922 No. 231

Noticias do Brazil

大正十一年三月十日　金曜日　第二百卅一號

大石内藏之助

五十九

半井桃水

『拙者とても同じ事、普通の聲であらうと、氣合ひを掛ければ驚いて、振向くに違ひない、さすれば偽り者と罵しり、唯一撃の下に、打殺さうと存じたが、矢張り感じたやら感じぬやら』

『夫となく體を開いて、巧に木劍を避けた容子、正しく聞えたに相違ない』

『何に致せ豪膽不敵、而も劍道に於ては、所詮我々の及ばぬ技量、飛んだ者が入込み申した、夫れにしても大石殿の心底を、先づ取糺し申さぬ事には、同志に對して、我々が何と宥めやうも御座らぬ』

『今日こそは本性を、見極めたいと存じ居つたに、思ひ掛けない邪魔が入つて、空しく退取り申したが、いよ〳〵性根を見抜くまでは、毎日尾崎へ立越して、酒宴の妨げ致して見よう』

『張扱石の子息に似合はず、主税殿の武勇には、實もつて驚き入つた』

『その手柄を賞めはせいで、勘當とは何の事、酒に本性を奪はれて、氣が違うたと見る外はない』

『高田堀部奥田の諸士へは、亡君のお百ヶ日までに、是非江戸へまかり下ると、堅く約して置きながら先程の返答、江戸で飲むも當地で飲むも酒の味は變りもなければ、炎暑を冒して遠方に、參るにも及ばぬとか申されたの』

『江戸の同志が此の事を承はり傳へたなら嘸心外に思ふであらう』

『大石殿を見限れば、江戸在住の同志ばかりで、成敗に拘はらず、事を擧るに、違ひない、明日にも再び大石殿を訪ひ、篤と心底見屆けるまで他言は必ず無用に致さう』

『その儀は申すまでもない事、していよ〳〵大石殿が、酒に魂魄を奪はれ腰も立ぬと見るならば、直さま江戸へ走せ下り、彼の地の同志と力を協せて、本意を遂ぐる外はあるまひ』

『御兩所は大石殿が、浪華の商人天野屋利兵衛に、大金を託し、更に宏大な家屋敷を求め、剩さへ田地まで買入れられるといふ事を、お聞きなされたか』と神崎與五郎は問掛けた

『拙者もうす〳〵夫の事を承はらぬではないが、田地を買うて何にせられう、夫は大方虚説で御座る』と潮田又之丞は打消した。

『イヤ〳〵、まんざら嘘でもなさゝうな』と大高源吾は苦笑した。

『すりやまた何で』

『拙者は計らず證據を獲た』

『ナニ證據とは』

『先刻庭前に於て、拾上げた一通は即ち天郎屋利兵衛から、大石殿に送つた手紙、幸ひ四方に人もなし、拙者見張りを致す間、篤と披見せられて好からう』と懐中から取出す一通二人は提灯の光にさし寄せ、四つの眼に讀下し

一筆啓上仕り候此程は橋本平左衛門様御來臨被下尊翰並に金子五百兩正に相受取申候被仰聞候御屋敷田畑買入之儀に付早速京へ馳登り候て心當り相探申候處幸ひに宇治田原に宜敷御屋敷有之價之儀も案外下値に御座候間買受之相談仕り置候田地も夥多有之多分思召に叶ひ候事と奉存候萬一御意に叶ひ不申候時は外々相尋此の分は讓戻しの事に取計可申候石不取敢以飛脚奉申上候恐惶謹言

大石様人々御中　天野屋利兵衛

＊　＊　＊

其の翌日三人は、又候屋崎へ大石を訪うた。今日こそは何が何んでも内藏之助の心底を見極め。いよいよ酒に性根を奪はれ、復讐の心がなければ、軍陣の血祭り、我々の手に掛けて、同志への見せしめと、何れも覺悟したのである。

いつも明放しの座敷に、酒の香失ぬ主の姿を、先づ見るならはしに引變へて、今日は珍らしく障子を閉て鼻を穿くは藥のにほひ。

折好く緣側傳ひに來かゝつた、瀬尾孫左衛門を呼留めて、

『大石殿には御在宿かな』

『是は〳〵お三方、お打揃ひで、好うお出なされました、旦那様は昨晩出しきつと容を改めて跡、封印付の手箱を取

『拙者此の回の病氣も四五日中には病室を立出た跡、封印付の手箱を取遠しと云はねばなりません。

◆尤も女は家庭を齊める役目を持つて居るものですから、何も男を差し措いて機械使用や、自動車運轉を爲さぬとも宜いと云ふ理窟も立ぬ譯でもありませんが、最早や今日は分業の上に合同するの世の中ではなく、合同の上に分業するの世の中となつて來たのでありますから、合同の内輪に何時如何な變動が起つても、甲は乙に代り、乙は丙に代るの準備と訓練とがなくてはならぬのであります。

日本婦人が歐米婦人に及ばざること

陸女と孫左衛門が石坂を促して、

婦人欄

◆科學全盛の時代（下）

よし子

◆一と口に科學と申しましても、其の範圍は至つて廣らう御座いますから、遂い空中のことや、河海のことなど多方面に申しますと、宇宙の事を科學的に研究しますと、段々不思議な事や、不可設な事が無くなり、更に女が代つて機械を使用して、其の間何等澁滯を留めなかつたのでありますが、是等は皆な歐米の婦人が平素科學的訓練が出來、いざと云ふ場合には兵器彈藥も造れば造船所の働きもする、自動車も走らせば、農業機械も運轉すると云ふやうに出來て居るからで歐米人自身から見れば何の不思議もないのであります。

◆所が日本婦人の眼から看ますれば機械を使つたり自動車を走らせたりするのが男のする事は女の關係範圍でないなどゝの舊思想を取り捨てゝ、世の事は男と共に科學的に研究し、一面男の爲す事に興味を有つやうに努むると共に、又一面一國、一社會、一團體、一家内に變へて、今日は何んでも珍らしく障子を閉て疲勞さこそと察し入る、各位がたが見えられたを幸ひ、暫時休息致した上、石坂氏には御酒まひらせい』と内藏之助は指圖した。

三人を誘うた。

『早速のお見舞忝じけない、石坂氏を始め、陸も孫左衛門も徹夜の看病

◆ですから私共も男のすることは女

●購讀料拂込を乞ふ

各位益々御清祥奉大賀候陳ば弊社帳簿整理の都合上購讀料未納者並に前金切者に對し此際大至急料金御拂込を願はざる可からざることに相成候間甚だ御手數には候得共右事情御諒察の上御送金被成下度此段御願申上候

▲購讀料率

壹ヶ月　壹ミル五百レース
六ヶ月　九ミルレース
壹ヶ年　拾八ミルレース

但し前金に限り▲六ヶ月八ミルレース▲壹ヶ年拾五ミルレースに割引致候

▲外に外國送りは壹ヶ年前金二十ミルレースに候間々々御注文被下度候新購讀は前金に非ざれば取扱不申候間御注文の際は必ず料金を添へ御申込み被下度候

伯剌西爾時報社

NOTICIAS DO BRAZIL
Caixa Postal, H
S. PAULO

OSAKA SHOSEN KAISHA

大阪商船會社着發廣告

●シカゴ丸
北米パナマ經由　サントス發　三月十七日
横濱、神戸行き　リオ港發　三月二十日

●カナダ丸
日本ヨリ　サントス着　三月十一日

尚詳細は左記へ御問合せ下被度候
Antunes dos Santos & Co.
S. Paulo :— Rua José Bonifacio, 17
Santos :— Rua 15 de Novembro 167
Wilson Sons & Co. Ltd.
Rio de Janeiro :— Av. Rio Branco 37

ANTUNES DOS SANTOS & COMP.
AGENTES DAS COMPANHIAS
NIPPON YUSEN KAISHA

日本郵船會社出入廣告

●神奈川丸
三月下旬サントスに向け神戸出帆の豫定

御用の方は左記へ御照會被下度候

アンツーネス、ドス、サントス會社
Caixa Postal, 237
Rua José Bonifacio 17,
S. Paulo

BANCO ESPECIE DE YOKOHAMA, LTD.
(THE YOKOHAMA SPECIE BANK, LTD.)
Rua da Candelaria, No. 23
Caixa Postal 389
Rio de Janeiro

キリトリテ、テガミノ、オモテニ、ハラルベシ

横濱正金銀行支店

リオ、デ、ジヤネイロ

金送里鄉

一、日本金に引直相場は當分伯貨三ミル六百五十レースにつき日本金壹圓

二、日本内地郵便爲替料、書留料共總て當店に於て負擔いたし即ち全く無料にて御鄉里の受取人へ送り届け申候

三、金子は現金封入、郵便爲替又は銀行小切手にて當店へ御送り被下度猶ほ横濱正金銀行勘定として Banco Commercial do Estado de São Paulo へ御拂込被下候ても差支無之候

四、何れにしても送金申込書は必ず忘れずに當店へ御送り被下たく候

預金

日本貨定期預金利息　六ヶ月以上　年五分二厘
伯貨定期預金利息　六ヶ月以上　年五分五厘
伯貨當座預金（小口）　一壹ヶ年以上　年六分

◆預送金用紙は御請求次第直に御送り可致御不審の點は御遠慮なく御問合せ被下度候

◆預金通帳は書留郵便にて御送付可申上候間御申込の際最寄郵便局御指定相成候はゞ御便宜に有之候